

白友会会報

◇会報11号編集担当者◇

平成22年3月

小野 恵美子 小牟田 美幸

佐藤 眞由美

会長あいさつ

白友会会長 神谷 美佐子



新しい年度を迎え、同窓会会員の皆様は如何お過ごしでしょうか。

平素は、同窓会の運営・活動にご理解ご支援を賜りありがとうございます。第4回の総会を終え早いもので3年目を迎えようとしています。

昨年は世界的な不況の嵐の中、医療経済にも大きな影響を及ぼしています。社会が混沌としているこのようなときこそ、看護の時代が来たことを認識し、地域社会での看護活動を実践することの必要性を感じております。

私は、平成21年4月より、母校の看護専門学校に戻り、学校長としての大任を拝命いたしました。看護を取り巻く環境の変化に伴い、看護実践能力を強化するため看護基礎教育のカリキュラム改正が行われ、患者の視点に立った質の高い看護の提供が求められています。本校も看護専門職業人とし社会に送り出せるようしっかりと学生の教育に関わり支援をしていきたいと考えております。

大阪医科大学における看護基礎教育の歴史は、昭和4年に大阪高等医学専門学校附属看護婦学校が設置され、80年を経過した今日に至っています。

大阪医科大学の発展とともに看護師教育の歴史と実績が今日の発展に寄与できたことは、先輩諸姉をはじめ多くの皆様のご支援の賜物だと感謝しております。

この度、大阪医科大学では看護基礎教育を4年制大学教育にするために、多くの皆様のご尽力により平成22年4月より大阪医科大学看護学部看護学科として開設される運びになりました。看護学部開設準備室は二名の教授が着任され、4月からの学生受け入れのための準備が進められています。現在、新校舎の講堂に隣接した研究棟の建設も完成間近となり教育環境も更に整えられています。

一方、看護専門学校は平成22年度より学生の募集は停止し、学生が全員卒業しますと、閉校の予定です。

看護専門学校戴帽式の挙行も昨年10月が最後となりました。現在の在校生は4月より、看護学部の学生と学び舎を共存しますが全員揃って卒業できるよう、教職員一同より多くの支援をしていきたいと思っています。

白友会の運営は、会員皆様のご支援・ご協力により成り立っています。看護専門学校が閉校することにより同窓会の運営には種々の問題が想定されますので、現状を鑑みて今後会員皆様からのご意見を賜りたいと思っています。どうぞご理解いただきご協力の程よろしくお願い申し上げます。詳細につきましては活動状況にてご報告いたします。

最後になりましたが同窓会会員の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

同窓会活動状況報告

同窓会（白友会）役員会報告

1. 同窓会会報の発行

平成20年度 会報10号発行

発送総数：1,807通（院外：1,370通・院内：437通）

返送数：71通（住所不明）最終確認未

2. 母校教育活動への協力

祝電：看護専門学校入学式・看護専門学校卒業式・看護専門学校戴帽式

3. 常任幹事会・役員会の開催

1) 常任幹事会

・平成21年10月20日開催

議題：

①同窓会（白友会）のあり方について

・看護専門学校閉校後の活動継続について

・同窓会名簿管理の方法について

・維持管理費の必要経費について

②次期役員選出について

・会則に基づき検討し、2年任期の役員については継続を希望

2) 役員会

・平成21年4月22日開催

議題：

①会報10号発送後の状況報告

②学校法人大阪医科大学評議員の選出について

藤田和子氏が評議員の任期終了により後任として西山裕子氏（大阪医科大学附属病院看護部長代理）を選出し承認

③同窓会運営について

・平成21年12月22日開催

議題：

①白友会会報11号発行計画について

②役員改選について

常任幹事会の報告を受け、現役員の2年間継続について役員会で承認

大阪医科大学附属看護専門学校同窓会会則

第7条役員任期・選出

1) 本会の役員の任務は2年として再任は妨げない。

但し、連続して4年を超えることができない。

2) 役員は常任幹事が選出する。

● 新役員紹介（平成22～23年度）●

役名	氏名（卒業課程・回生）	
会長（1）	神谷美佐子（看護二年課程定時制 5回生）	
副会長（1）	西山裕子（看護二年課程定時制 9回生）	
書記（2）	豊田瑞恵 （看護二年課程定時制 12回生）	守本俊子 （看護三年課程 3回生）
	城戸滝枝 （看護二年課程定時制 4回生）	小野恵美子 （看護二年課程定時制 18回生）
会計監査 （2）	宮武明 （看護二年課程全日制 2回生）	服部誠子 （看護二年課程定時制 5回生）
	紙谷信子 （准看護学校 13回生）	森山幸子 （看護二年課程定時制 14回生）
常任幹事 （4）	小牟田美幸 （看護二年課程全日制 13回生）	佐藤真由美 （看護三年課程 1回生）

③今後の同窓会運営について

平成22年度からの看護専門学校学生募集停止にあたり、同窓会の運営等、役員会で協議している事柄について会員の皆様にご報告申し上げます。

◆会員数について

第4回同窓会総会時に会則改正の提案説明にありましたように、平成8年白友会設立時の会員数は1,285名でありましたが、同窓会発足後は看護専門学校卒業生が卒業と同時に全員入会し会員数も2,365名に増加しました。

この度、平成22年4月に大阪医科大学看護学部の開校に伴い、現在の看護専門学校は平成22年度より募集を停止して、全員卒業した時点で閉校予定です。大阪医科大学看護学部は、大阪医科大学医学部と同じ体制になるため、看護専門学校とは組織が異なる形で卒業生が誕生してきます。即ち、看護専門学校の卒業生である同窓生の会員数の増加は望めない状況であります。

◆同窓会事務局について

同窓会事務局については、前回総会時にもご意見を賜りましたように、独自の機能として運営していくことが望ましいと考えています。しかし、煩雑な業務の合間に今日迄看護専門学校の教員および看護専門学校の事務方にも協力を得ながら、役割を遂行している状況です。現在は年1回の会報発行が主な事業ですが、今後看護専門学校の閉校に伴い、現在の教職員が役割を遂行していくことには困難が想定されます。現状におきましても会員の移動等の把握は難しく、個人情報保護等の観点からも会報発送後の対処に苦慮している状況です。同窓会を存続していくためには、会報の発行や名簿の管理等事務に関連する業務の委託も検討していかなければなりません。業務を委託していくためには必要経費に伴い、現状の会費の納入方法では運用ができないことが予想されます。これらのことを勘案しますと、今後も同窓会を存続していくためには年会費としての徴収等も必要になってくるのではと考えております。

◆予算・経費について

同窓会は入会時の終身会費10,000円で運営を行っています。現在主な支出は総会および年1回の会報発行時に執行されています。(会計報告参照) 今後、看護専門学校が閉校し卒業生がいなくなりますと、新たな収入は見込めません。そのような状況においては、今後の会報発行の継続も難しくなっておりまいます。同窓会を存続していくためには、会員の皆様にご理解いただき、新たに年会費等の徴収(案)が必要になってくるのではと考えております。

◆その他

大阪医科大学80余年の看護師教育の歴史が発展し、この度の大阪医科大学看護学部の誕生に繋がったことは、会員として大きな喜びであります。今後、大阪医科大学は医学部と看護学部を併せ持つ複合大学として卒業生を送り出すことになってきます。当面は看護学部卒業生はいないため、同窓会として今後一体化できるかの見通しは未だできておりません。次回の総会に向け会報等を通じて経費に関する事項や、組織・運営のあり方等についてご報告を行いながら、会員の皆様方のご理解とご意見を戴き進めていきたいと考えていますのでよろしくお願い申し上げます。

会 計 報 告

平成20年度（収支）

20年4月～21年3月まで

1 収入の部

項 目	金 額	備 考
会 費	860,000	卒業生：(看護学科80名) 新入会員：6名
利 息	2,539	郵便貯金
寄 付	160,984	
繰 越 金	3,472,169	
合 計	4,495,692	

2 支出の部

項 目	金 額	備 考
事 業 費	554,408	第4回総会案内（印刷・郵送） 入会希望者へ書類郵送
会 議 費	63,106	第4回総会（講演会含む）
管 理 費	0	
予 備 費	7,998	アルバム、USB
合 計	625,512	
繰 越 金	3,870,180	

平成21年度（収支）

21年4月～22年3月まで

1 収入の部

項 目	金 額	備 考
会 費	710,000	卒業生：(看護学科71名)
利 息	0	
繰 越 金	3,870,180	
合 計	4,580,180	

2 支出の部

項 目	金 額	備 考
事 業 費	355,846	第4回白友会会報発送 会報11号印刷・角2封筒 宛名シート
会 議 費	0	
管 理 費	0	
予 備 費	2,215	弔電1名
合 計	358,061	
繰 越 金	4,222,119	

病院近況報告

看護部長 小野恵美子

白友会の皆さまにおかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年4月に神谷美佐子看護部長の後任として看護部長を拝命致しました。まだまだ未熟な私ではありますが、看護部長という重責を担うことができましたことは、先輩の皆さまのご指導・ご鞭撻の賜物と深く感謝を致しております。

病院におきましては、特定機能病院として高度な医療を実践すると共に、社会のニーズに応える「安全、安心」な医療・看護の提供のために、安全対策や感染対策を重視し、全職員一丸となって取り組んでおります。

昨年4月には厚生労働省より「地域がん診療連携拠点病院」の認可を受けました。最先端のがん治療を行うと共に、緩和ケア医療にもホスピスケア認定看護師がチームの一員として積極的に活動しています。

外科領域におきましては、新生児から、90歳代の高齢者まで、年間7500件以上の手術が行われております。看護業務におきましては、医療技術進歩、在院日数の短縮、高齢化社会など医療環境が目まぐるしく変化する中で、密度が高くなり煩雑化しています。このような現状の中で、看護部では、先輩の皆さまが築いて来られました常に患者の立場に立って患者さまと共に歩む「患者中心の看護」の提供に日々努力を重ねております。

また質の高い看護の提供のためには、職員一人ひとりが生き生きと働く職場風土の形成が極めて重要であると考えております。その取り組みの一環として、昨年末には病院正面玄関前に、職員の協力によりイルミネーションを設置致しました。本院に通院、入院中の患者さま、地域住民の皆さま、職員・学生の皆さま方へ冬の夜空を明るく灯すことで安らぎを与えることができればと思っています。

平成22年度は、病院機能評価の更新審査のため「病院機能評価審査委員会」を中心として各部門一致協力のもと受審に向けて準備中です。

今後も社会の皆さまから「選ばれる病院」を目指して資質の高い看護の提供ができるように日々研鑽していきたくと思います。

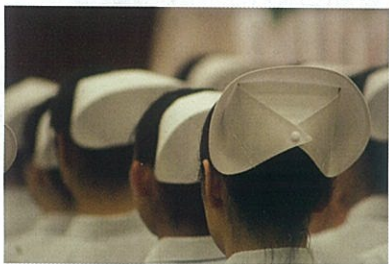
最後になりましたが、会員の皆さま方のご健康とご多幸を祈念申し上げます。



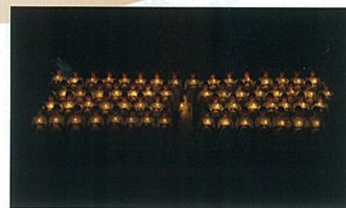
戴帽式



ナースキャップの廃止に伴い、戴帽式の無い専門学校が増えています。しかし、本校では戴帽を機に各自がもう一度看護師を目指すことの決意と覚悟を再確認し戴帽を受けます。たった47gのナースキャップですが戴帽を受けてその誇りと責任を実感する瞬間でした。



ナイチンゲール誓詞に替え、クラス全員で話し合った自分たちの決意を誓いの言葉として斉唱しました。



第4回学校祭・白友祭

健康相談・健康指導コーナーでは、普段はあまり血圧を測る機会の少ないちびっ子も興味津々で参加してくれました。また、和室では、着慣れない和服を着た学生達がおもてなしを行っていました。この時期、ちまたでは新型インフルエンザが流行り始めており、全員マスク姿でした。



クリスマスコンサート

学生達は、授業・課題・テスト★演奏の終盤に、子ども達はサン★で忙しい中、少しでも皆様★タとトナカイからお菓子をプレ★楽しんでいただけるようにと、★セントされ、最後には壇上に★授業前の朝の練習、授業後の課★上がってみんなでアンパンマン★外の練習を重ねこの日を迎えま★の歌を大合唱!!★した。



新入会員紹介

平成21年度卒業生 25回生 (71名)

秋田 朋香	岡田 未来	下村 沙織	寺前 智子	福井 俊輔	森本 愛望
朝槻 麗美	岡成 淳子	庄司絵里加	十一 恵美	福岡 由梨	森本 由紀
天羽 紗知	甲斐久美子	白岩 香澄	殿井 瑛子	福田 成未	安井 絢子
石川 由貴	金丸 知世	新熊美和子	中井 真理	堀之内詩歩	矢原 祐希
印藤 千紘	鎌田 智子	瑞慶覧楨恵	永田 祐子	前尾 陽子	山岡 桜
上野山晴香	河口明日美	関 愛輝世	成瀬 由貴	松本 梨佐	山澤 智衣
梅木 佑美	諫田 江梨	高岡みどり	西 美香	真鍋 晴香	山田真唯子
大井 麻希	木村 愛	高橋 裕美	西田 徳子	丸山 珠恵	山田 理紗
大坪 奈月	後藤 瑠美	瀧上 光	橋角 麻未	森 綾菜	吉田 薫
大坪 由依	貞山真有香	田代 友香	橋本 綾菜	森 麻衣子	米田 望美
大西 美菜	志方 寿恵	田村梨都子	林 せり菜	森谷 佳奈	渡邊 紗江
大山 春香	下西 望美	千葉 桂	平松 育美	森元 茜	

● 第5回学校祭(白友祭)開催のお知らせ ●

テーマ：笑顔と共に広げよう地域の輪
～みんなでつなごう心の絆～

日時：平成22年5月8日(土曜日) 10:00～16:00

場所：看護専門学校

模擬店・バザー・演奏会などのプログラムを多数予定しています。
同級生と一緒にご参加ください。お越しをお待ちしています。



看護学校二年課程定時制 昭和45年度卒業
百々 道子様(旧姓：山崎) 絵

訃報

大野 久子様

(旧姓：平岡)

旧制看護婦学校
昭和9年度卒業 5回生

荻谷 智子様

(旧姓：長野)

看護学校二年課程全日制
昭和57年度卒業 14回生

謹んでご冥福をお祈りいたします。



編集後記

寒い冬が過ぎ去り日1日と春を感じるこの頃ですが、会員の皆様には、お元気で
お過ごしのことと推察いたします。今年も71名が母校を巣立っていきました。

昨年を表す一文字は「新」とありましたように、社会全体が大きく揺らいだ
ニュースが後を立ちませんでした。変化変革の時期にあたり、看護教育においても
質の向上に向けて大きく変わろうとしており、いよいよ平成22年4月から看護学部
が開設されます。これもひとえに会員皆様方のご協力・ご理解が
あつてのことと、深く感謝しております。時代がどのように変わ
ろうとも看護教育に携わる私どもも、今以上に努力をしてまいり
たいと考えております。

この1年が会員皆様にとって、素晴らしい年となりますことを
願っております。

☆白友会ホームページのご案内

看護専門学校ではホームページの中で、学校の案内や学校の状況などタイムリーに情報をお伝えしています。
白友会のページも掲載していますので、是非ご覧ください。

白友会のアドレス <http://www.osaka-med.ac.jp/deps/kango/uc.html>